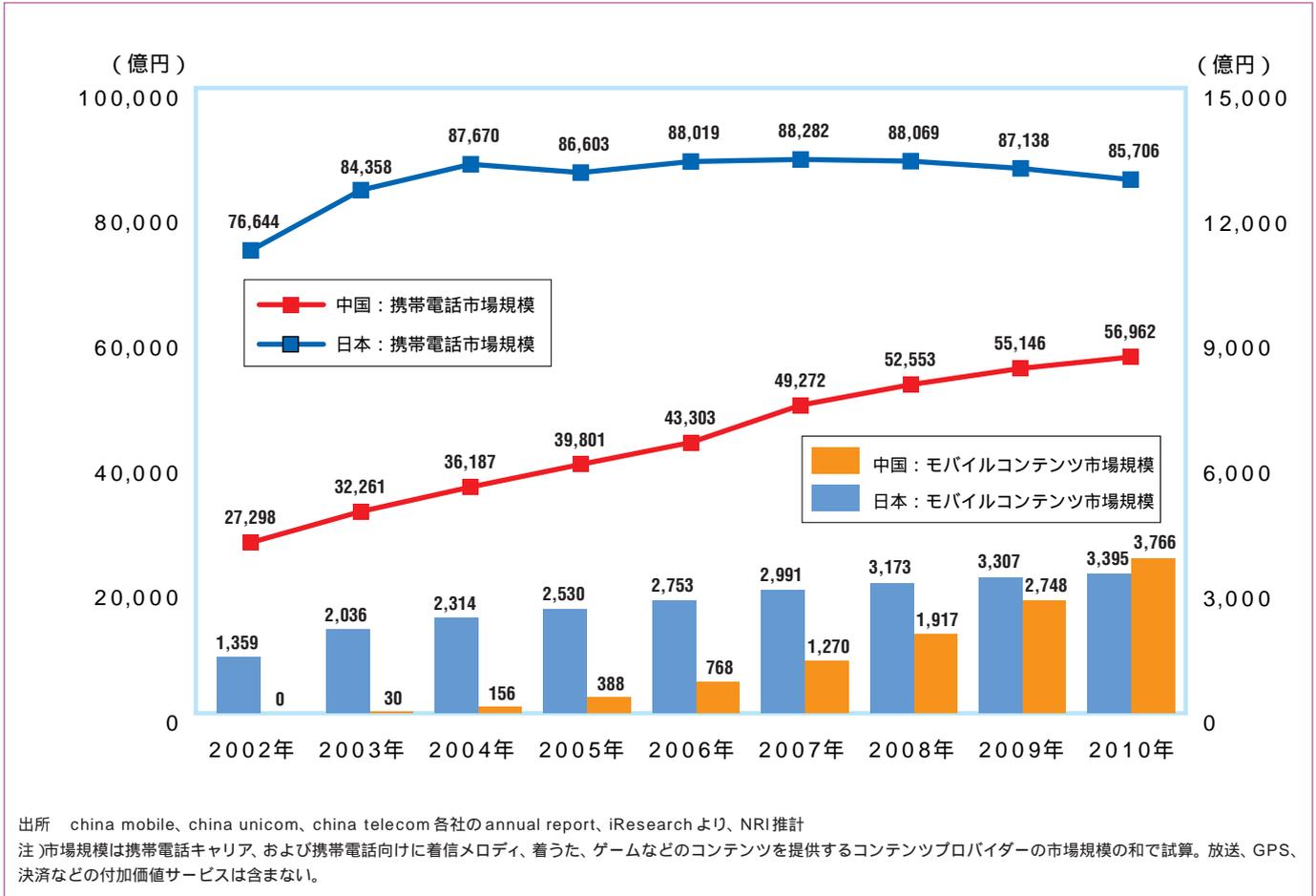


# 中国モバイルコンテンツ分野市場は 2010年には日本市場を超え 3,766 億円に達する

図1 中国と日本の携帯電話市場、モバイルコンテンツ市場の推移と予測(金額規模)



(株)野村総合研究所(以下、NRI)では、中国IT市場主要7分野(携帯電話端末、携帯電話サービス、モバイルコンテンツ、PC、サーバー、ストレージ、ITサービス)の動向把握と日本市場との比較を行い、その結果を2005年6月に発表した。これによると、2010年までに携帯電話端末、PC、サーバー、ストレージ、携帯コンテンツ分野において中国市場が数量規模に続いて金額規模でも日本市場を上回る可能性が高いことがわかった。中国におけるモバイルコンテンツ分野

の金額市場は拡大が続くと予測されており、2010年には日本市場を超える可能性が高いと考えられる。具体的には、日本が3,395億円であるのに対し、中国は3,766億円に達する見込みである。

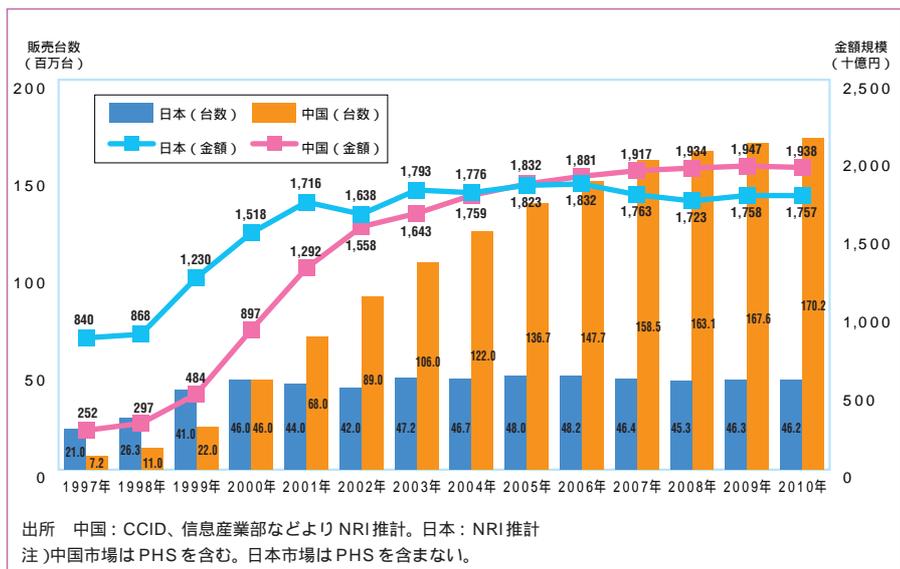
主にインターネットの普及に支えられているストレージ市場は2004年以降、若干成長率は鈍化するものの、利用者ベースは2010年で日本の4倍近くになることから、需要も旺盛であると見込まれる。

一方、機器単価、利用者単価などに着目すると、日本市場の単価水準は中国市

場の約1.5~10倍であり、依然として市場の価格水準では大きな差が残っているようだ。

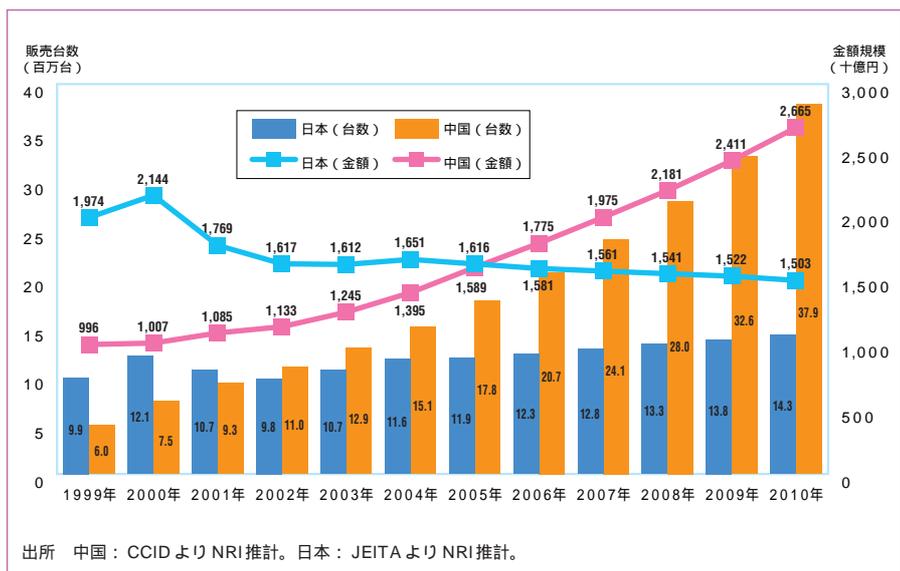
情報システム開発(システムインテグレーションを含む)やソリューションといったITサービス分野では、顕在化した市場規模は日本の10分の1程度にとどまっている。これは、SEなどの人件費の水準が低いことや、情報システム分野が企業内製主体のため、ITサービス市場そのものが未成熟であることを反映しているとNRIでは見ている。

図2 中国と日本の携帯電話端末市場推移と予測(販売台数、金額規模)



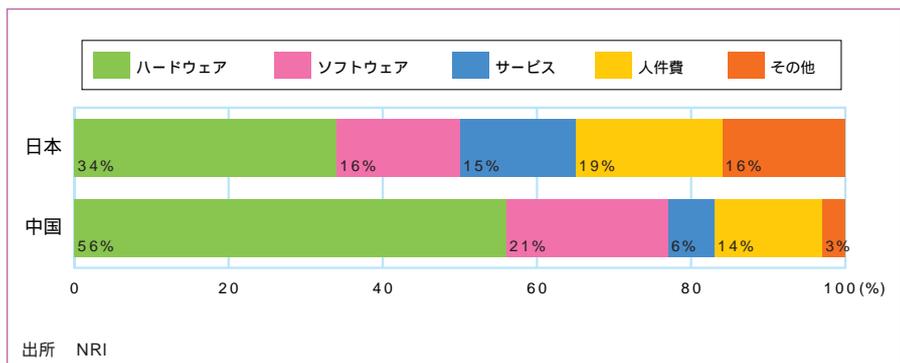
携帯電話端末の分野では、中国市場が2001年に台数で日本市場を超えて以降、金額でも追いつき追い越しつつある状況が明らかになった。2010年には、中国の金額規模が1兆9,380億円、日本が1兆7,570億円に達すると予測されている。

図3 中国と日本のPC市場規模推移と予測(販売台数、金額規模)



携帯電話端末の分野と同様に、PCの分野でも中国市場が金額において日本を追い越しつつある。2010年には、中国が2兆6,650億円、日本が1兆5,030億円と予測されている。

図4 中国と日本のIT支出構成の比較(2004年)



中国の情報システム支出の内訳を見ると、ハードウェアが60%近くを占めている。そして、ソフト・サービス支出の比率が、日本と比較して低い点特徴的。ただし、内製分野を含めると、ITサービスの潜在需要規模は日本の3分の1~4分の1程度とも推測されており、今後の成長余地は極めて大きいと考えられる。

出所 (株)野村総合研究所/中国IT市場主要7分野のベンチマーク結果より



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)